

礼文（桃岩展望台コース）・利尻山 山行報告書

孤高の峰に憧れて..



(冬の利尻山)

【行程】

1日目（7月16日＝礼文島）桃岩展望台コース トレッキング
稚内フェリーターミナル（6:20）－ 礼文島 香深港（8:15）－ バス移動 －
桃岩展望台コース（8:55）－ 知床（11:15）

2日目（7月17日＝利尻山）鴛泊コース
鴛泊コース登山口（5:05）－ 利尻山避難小屋（8:20）－ 利尻山山頂（9:55）
－ 利尻山避難小屋（11:30）－ 鴛泊コース登山口（14:10）

【山城】北海道 【天気】 晴れ

【メンバー】CL 佐藤、SL 斎藤（健）、岸野、宮城、堀田

昨年のトムラウシ、旭岳、十勝岳に続く北海道遠征第2弾、前半戦は 礼文島トレッキング & 私にとっては憧れの山、最北の日本百名山、利尻岳（利尻山）へ登ってきました！
山が好きな人だけではなく、北海道を旅する人にとっても利尻山は思い出深いものではないでしょうか。
最果ての地に来たという感慨もありますが、海に浮かぶ美しい三角錐の姿は遠くから眺めても存在感があり、実際利尻島に行ってみるとその大きさにさらに驚かされました。

1日目 (7月16日=礼文島) 桃岩展望台コース トレッキング

礼文島は標高500mに満たない 全体になだらかな地形です。その魅力は高山植物であり「花の浮島」という別名にも表れています。

気軽に高山植物の散策が楽しめ、花の百名山でも紹介されています。

今回は花の群落が多い、桃岩展望台コースを散策しました。



稚内→礼文島へ船で移動



桃岩展望台コース登山口



桃岩



花の百名山

2日目 (7月17日=利尻岳) 鴛泊コース

「リシリ」はアイヌ語で「高い山の島」の意味で1721mの美しい円錐火山です。旅館を朝5:00出発。宿から5分ほどの鴛泊登山口である2合目「利尻北麓野営場」まで送っていただきます。車が入れるのはここまで。トイレもあります。登山届けは宿に提出です。

利尻山には登山道が二つ「鴛泊(おしどまり)コース」と「沓形(くつがた)コース」。鴛泊コースの方が中級者向け。沓形コースは上級者向けで危険ヶ所もあるとの事。今回は鴛泊コース！といっても鴛泊コースは長いんです。登り6時間下り4時間の長丁場です。山小屋はないので泊まりで行く事は出来ません。又、山頂1721mに対して登山口である利尻北麓野営場の標高は220m。単純計算だと「上高地→奥穂」に近い標高差なので結構大変です。



利尻北麓野営場



甘露泉水



長官山(8合目)からの利尻富士



ザレた登山道

3合目である湧水の「甘露泉水」が唯一の水場です。他に水場はありません。道中、お手洗い用のブースは3箇所程あるのでそれを使って携帯トイレの中に用を足します。その辺でお茶を濁してはいけません！！

吸水ポリマーのシート&密封袋をザックの中へ・・・自分のですからね！！

9合目を過ぎるとガレてあちらこちらが崩れた登山道となり、これが滑るんです・・・歩きづらい・・・いつ登山禁止になってもおかしくない山というのがよくわかります・・・

ザレ場を終えるといよいよ山頂到着です。祠がありました。ここにあった札は1721mと書いてあるけど、1721mなのはお隣南峰。ここ北峰はちょっと低い1719mのようです。でも南峰は登頂禁止で行けません。



なんとしても晴れた日に登りたいと思っていた利尻山。その願いが通じたのか、青空・雲海・樺太と、とびっきりの景色が見られました(^^)

海から立ち上がる山容の美しさはもちろんのこと、長官山から見上げる利尻岳の鋭く尖った美しい山容は当分忘れられそうにありません。

目標だった憧れの利尻・美味しい海の幸、心もお腹も満腹！最高の山旅でした。

佐藤CLをはじめ2年連続ご一緒して下さいました皆様、ありがとうございました。素敵な思い出を胸に、またいつの日か雪の積もる頃に訪れようと思います・・・登れないけど・・・



皆さん、ありがとうございました。



きつ歯〜?! (*_*)



たこシャブ〜



礼文ウニ & 海の幸

